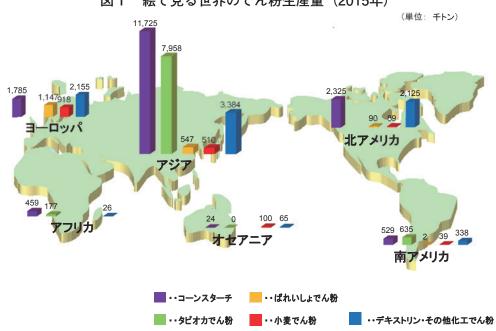
1. 世界のでん粉需給

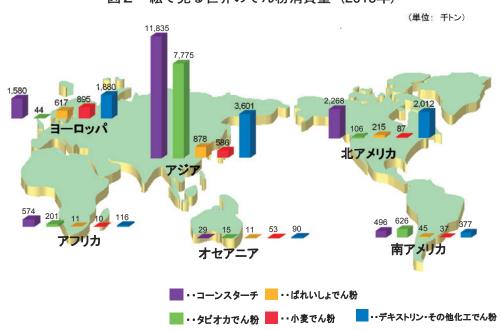
図1 絵で見る世界のでん粉生産量(2015年)



資料:LMC International * 「Global Market for Native & Modified Starches 2016」を基に機構作成(※農産物の需給などを調査する英国の大手民間調査会社)

注:ヨーロッパには、ロシアを含む。

図2 絵で見る世界のでん粉消費量(2015年)



資料: LMC International 「Global Market for Native & Modified Starches 2016」を基に機構作成

注:ヨーロッパには、ロシアを含む。

表1 トウモロコシ相場、タピオカ市価、為替相場

	シカゴトウモロコシ・期近		タイタ	ピオカ	為替レート(TTS)		
		(セント/BU)		(バーツ/kg)		米ドル	タイバーツ
年・月	高値	安値	平均值	キャッサバ 農家価格	チップ 卸売価格	(円/ドル)	タイパーツ) (円/バーツ)
2012 年	831.25	551.50	694.05	2.00	6.58	80.82	2.65
2013 //	741.25	412.00	579.77	2.13	6.61	98.65	3.26
2014 ″	515.75	320.75	415.91	2.10	6.76	106.85	3.34
2015 //	433.50	347.75	376.57	2.16	6.78	122.05	3.62
2016 ″	437.75	301.50	358.36	1.52	5.66	109.84	3.16
2016年2月	372.50	353.50	363.28	1.76	5.31	116.08	3.31
3	373.00	351.50	363.49	1.80	5.45	114.03	3.29
4	394.75	354.00	372.68	1.92	5.69	110.83	3.21
5	412.75	367.75	389.42	1.78	6.02	110.12	3.16
6	437.75	358.75	410.26	1.49	6.03	106.48	3.07
7	365.75	331.25	343.30	1.41	5.86	104.98	3.05
8	334.25	301.50	323.04	1.25	5.79	102.34	3.00
9	340.50	311.00	328.90	1.13	5.72	102.98	3.02
10	357.50	337.00	349.49	1.06	5.34	104.81	3.05
11	354.25	336.75	344.98	1.28	5.47	109.12	3.14
12	356.50	331.75	349.68	1.51	5.60	116.98	3.32
2017年1月	369.75	355.75	361.81	1.48	5.21	115.77	3.32
2	378.75	360.25	369.21	1.53	5.11	114.11	3.31

資料: ロイター、タイ農業協同組合省、タイ商務省、三菱東京UFJ銀行公表相場 注:チップ卸売価格は、アユタヤ県とチョンブリー県の価格を単純平均したもの。 (シカゴトウモロコシ相場の直近のデータは、当機構ホームページの「海外情報」に掲載しています。)

https://www.alic.go.jp/international/index.html

2. 日本の品目別主要輸入先国の動向

本稿中の為替レートは2017年2月末日TTS相場の値であり、1米ドル=114円(114.11円)、1タイバー ツ=3.31円、1ユーロ=120円(120.48円)である。

トウモロコシ・コーンスターチ

Ξ.

【需給動向:トウモロコシ】

総消費量は据え置き

2017年3月時点の米国農務省(USDA)による 2016 / 17穀物年度(9月~翌8月)のトウモロ コシ需給予測によると、供給関連の数値は前月から

据え置かれた。総消費量も、前月から据え置かれた ものの、その内訳として、エタノール向けが上方修 正された一方、飼料など向けは下方修正された。こ れは、直近のトウモロコシを原料としたエタノール 生産の増加傾向と、ソルガムの飼料向け生産の増加 見込みが背景にある(表2)。

【価格動向:トウモロコシ】

生産者価格は、据え置き

同じく2016 / 17穀物年度のトウモロコシの生

産者平均販売価格は、1ブッシェル当たり3.20~ 3.60米ドル(365円~410円)と、前月から据え 置かれている(表2)。

表2 米国のトウモロコシの需給見通し

	一単位一	2014/15	2015/16	2016/17年度						
区 分		年度	年度 (推測値)	(11月予測)	(12月予測)	(1月予測)	(2月予測)	(3月予測)	前年度比 (増減率)	
作付面積	(百万エーカー)	90.6	88.0	94.5	94.5	94.0	94.0	94.0	6.8%	
収穫面積	(百万エーカー)	83.1	80.8	86.8	86.8	86.7	86.7	86.7	7.3%	
単収	(ブッシェル/エーカー)	171.0	168.4	175.3	175.3	174.6	174.6	174.6	3.7%	
国内生産量	(百万ブッシェル)	14,216	13,602	15,226	15,226	15,148	15,148	15,148	11.4%	
輸入量	(百万ブッシェル)	32	67	50	50	55	55	55	▲ 17.9%	
期首在庫	(百万ブッシェル)	1,232	1,731	1,738	1,738	1,737	1,737	1,737	0.3%	
総供給量	(百万ブッシェル)	15,479	15,401	17,013	17,013	16,940	16,940	16,940	10.0%	
国内消費量	(百万ブッシェル)	11,881	11,766	12,385	12,385	12,360	12,395	12,395	5.3%	
飼料など向け	(百万ブッシェル)	5,280	5,120	5,650	5,650	5,600	5,600	5,550	8.4%	
食品・種子・その他工業向け	(百万ブッシェル)	6,601	6,646	6,735	6,735	6,760	6,795	6,845	3.0%	
エタノール向け	(百万ブッシェル)	5,200	5,224	5,300	5,300	5,325	5,350	5,400	3.4%	
輸出量	(百万ブッシェル)	1,867	1,898	2,225	2,225	2,225	2,225	2,225	17.2%	
総消費量	(百万ブッシェル)	13,748	13,664	14,610	14,610	14,585	14,620	14,620	7.0%	
期末在庫	(百万ブッシェル)	1,731	1,737	2,403	2,403	2,355	2,320	2,320	33.6%	
期末在庫率	(%)	12.6	12.7	16.4	16.4	16.1	15.9	15.9	24.8%	
生産者平均販売価格	(米ドル/ブッシェル)	3.70	3.61	3.00-3.60	3.05-3.65	3.10-3.70	3.20-3.60	3.20-3.60	▲11.4-▲0.3	

資料: USDA/WAOB [World Agricultural Supply and Demand Estimates] 注:年度は、各年9月~翌8月。

【貿易動向:トウモロコシ】

1月の輸出量は、8カ月連続で前年比増

2017年1月のトウモロコシ輸出量は、463万 7594トン(前年同月比71.4%増、前月比12.3%増) と、8カ月連続で前年同月を上回った(図3)。同 月の国別輸出量は、次の通り。

日本 104万4511トン

(前年同月比86.1%增、前月比44.8%增)

メキシコ 90万9267トン

(同1.7%增、同19.9%減)

韓国 47万5047トン

(同3.5倍、同30.8%増)

なお、同月の輸出価格(FAS ^(注))は、1トン当 たり175.59米ドル(2万17円、前年同月比2.4% 安、前月比1.6%安)と、前年同月を下回った。

(注) Free Alongside Shipの略。貨物を船側に付けた 段階で支払われる価格。FOB価格と異なり、横持 ち料 (倉庫間の移動費)、積み込み料などは含まれ ていない。

図3 米国のトウモロコシ輸出量および輸出価格の推移



資料:「Global Trade Atlas」 注: HSコード100590

【貿易動向:コーンスターチ】

1月の輸出量は、3カ月連続で前年比増

2017年1月のコーンスターチ輸出量は、8615トン(前年同月比22.0%増、前月比35.7%増)と、3カ月連続で前年同月を上回った(図4)。同月の国別輸出量は、次の通り。

メキシコ 3821トン

(前年同月比2.8倍、前月比3.0倍)

カナダ 2596トン

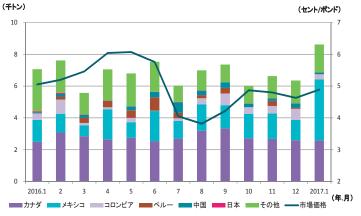
(同3.7%增、同0.1%減)

日本 5トン

(同91.7%減、同66.7%増)

なお、同月の中西部市場のコーンスターチ価格は、1ポンド当たり4.89セント(5.6円、前年同月比3.2%安、前月比5.6%高)と、7カ月連続で前年同月を下回った。

図4 米国のコーンスターチ輸出量および市場価格の推移



資料:「Global Trade Atlas」、USDA/ERS

注1:HSコード110812

注2:価格は米国中西部市場における製粉業者の純費用 (Net Cost)。 なお、純費用については、トウモロコシ 1 ブッシェル当たりに平均31.5 ポンド(1 キログラム当たり約0.56キログラム)のでん粉が含まれているものとして、計算されている。

タピオカでん粉

タイ

【生産動向】

キャッサバのでん粉向け出荷は堅調

現地報道によると、でん粉工場へのキャッサバの 出荷は、中国からの需要が減少しているタピオカ チップ仕向けからタピオカでん粉仕向けへのシフト により、堅調に推移している。

【価格動向】

タピオカでん粉国内価格、キャッサバ農家 価格ともに低水準で推移

タイタピオカでん粉協会(TTSA)によると、2017年3月第2週のタピオカでん粉の国内価格

は、1キログラム当たり11.2バーツ(37円、前年 同期比13.8%安、前週同)と、前年同期を下回っ ている(図5)。

一方、キャッサバ農家価格は、1キログラム当たり1.53バーツ(5.1円)(表1)と前月比では上回っているものの、前年同月を下回った状態が続いている。

現地報道によると、キャッサバ価格の低水準での 推移は、潤沢な供給量に加え、一部業者による著し く安価な取引を強いる「買い叩き」も背景にあると みられている。また、こうした状況を受け、現地の キャッサバ生産業界は政府による支援を求めてお り、政府もエタノール仕向けの増加を呼びかけてい る。

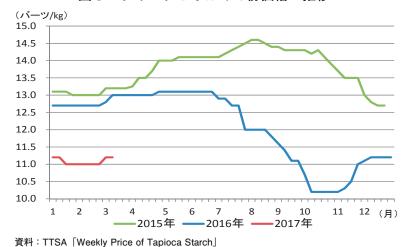


図5 タイのタピオカでん粉価格の推移

A WET TO A [Weekly Flice of Taploca Statch]

注:当該週の特定日の価格。

【貿易動向】

直近の情報を入手できなかったため、前月号の内容を再掲載する(図6)。

図6 タイのタピオカでん粉輸出量および輸出価格の推移 (千トン) 400 500 350 300 400 350 250 200 250 150 100 200 50 150 12 (年.月) **─**FOB価格 中国 インドネシア 台湾 マレーシア - その他 -

資料:「Global Trade Atlas」、TTSA「Weekly Price of Tapioca Starch」

注:HSコード110814

ベトナム

【生産動向】

12月の作付面積は、前年比減

ベトナム農業農村開発省によると、2016年12月の調査では、キャッサバの作付面積は、50万6172へクタール(前年同月比2.7%減)となった(表3)。主要生産地域である南東地域のタイニンでは、キャッサバ価格が低水準で推移しているため、多くの生産者が他の作物の栽培を選択していることが、作付面積減少の要因とみられている。

キャッサバの供給動向を見ると、北部では、山岳部を中心に、良好な気象条件を反映して、でん粉含有率の高い良質なキャッサバが供給されている。中央高原地域では、タピオカチップの乾燥に適さない不安定な気象条件が続き、通常以上にキャッサバのでん粉仕向けの比率が高まっている。一方、タイニンでは、キャッサバの収穫はほぼ終了しているため、でん粉工場では、主にカンボジアから原料を輸入している。

表3 ベトナムのキャッサバ作付面積

(単位:ヘクタール)

		2015年12月	2016年12月	前年同月比 (増減率、%)				
	紅河デルタ地域 (Red River Delta)	4,407	3,905	▲ 11.4				
北	北部内陸山岳地域 (Northern Midland and Mountainous Region)	92,633	87,849	▲ 5.2				
部	北部中央地域 (North Central Region)	45,252	55,545	22.7				
	小計	142,292	147,299	3.5				
	南部沿岸地域 (South Central Coastal Region)	108,411	111,245	2.6				
南	中央高原地域 (Central Highlands)	157,135	152,422	▲ 3.0				
部	南東地域 (Southeastern Region)	106,354	89,976	▲ 15.4				
	メコン河デルタ地域 (Mekong River Delta)	6,099	5,230	▲ 14.2				
	小 計	377,999	358,873	▲ 5.1				
	合 計	520,291	506,172	▲ 2.7				

資料: AgroMonitor「CASSAVA & STARCH MONTHLY REPORT - December

2016]

注1:2016年12月15日時点の推計値。

注2:四捨五入などの関係から、合計と内数は必ずしも一致しない。

【貿易動向】

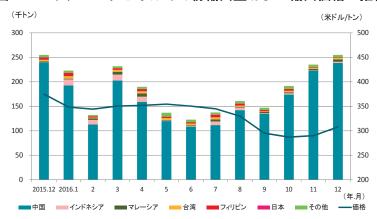
12月のタピオカでん粉輸出量は、前年並み

ベトナム税関総局によると、2016年12月のタピオカでん粉輸出量は、25万5157トン(前年同月比0.1%増、前月比8.5%増)となった(図7)。前年並みであるものの、かなり高水準の数量となっている。これは、最大の輸出先である中国向けが、年末年始と春節を控え堅調に推移したことが背景に

ある。しかしながら、1月以降、中国ではタピオカでん粉の在庫の積み増しと食品工場の春節休暇から、再び需要は減少すると見込まれている。

なお、中国以外の主な輸出先は、東南アジアや台湾であるが、インドネシアやマレーシアは前年同月を上回った一方、フィリピンや台湾は前年同月を下回っている。

図7 ベトナムのタピオカでん粉輸出量および輸出価格の推移



資料: AgroMonitor 「CASSAVA & STARCH MONTHLY REPORT-December 2016」

注1:HSコード110814

注2:価格は、2015年12月までは、当該月の特定日におけるFOB価格(ホーチミン) の中間価格。2016年1月以降は、統計値の公表方法の変更により、当該月の中 国向け輸出のCFR(Cost and Freight の略。輸入港までの海上運賃が売主の負 担となり、危険負担は本船に船積みしたときに終了する契約条件)平均価格。

ばれいしょでん粉

E U

【貿易動向】

1月の輸出量は、4カ月連続で前年比増

2017年1月のばれいしょでん粉輸出量は、3万283トン(前年同月比73.7%増、前月比5.7%減)と、4カ月連続で前年同月を上回った(図8)。同月の国別輸出量は、次の通り。

韓国 4834トン

(前年同月比2.0倍、前月比33.1%減)

米国 3882トン

(同23.0%減、同19.7%減)

中国 1415トン

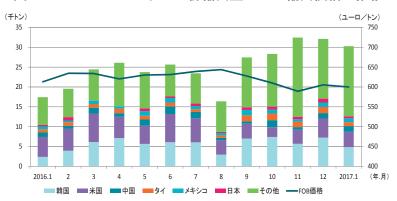
(同26.1%增、同5.4%增)

日本 510トン

(同34.2%增、同47.6%減)

2017年1月の輸出価格(FOB)は、1トン当たり600ユーロ(7万2000円、前年同月比2.2%安、前月比0.9%安)と前年同月を下回った。

図8 EUのばれいしょでん粉輸出量および輸出価格の推移



資料: 「Global Trade Atlas」 注: HSコード110813

コラム セルビアのでん粉需給動向

セルビアは、EUにとって、コーンスターチ、小麦でん粉を中心にでん粉の主要輸入先である(表 1)。 本稿では、セルビアのでん粉需給動向について報告する。

表1 EUの小麦でん粉、コーンスターチおよび化工でん粉輸入量(2016年)

(単位:トン)

7									
品目	小麦でん粉			コーンスターチ			化工でん粉		
HS⊐-ド	1108.11			1108.12			3505.10		
	輸入先国	輸入量	シェア	輸入先国	輸入量	シェア	輸入先国	輸入量	シェア
第1位	セルビア	1,427	76.9%	セルビア	30,023	81.1%	タイ	25,933	39.3%
第2位	中国	104	5.6%	イスラエル	1,889	5.1%	米国	22,180	33.6%
第3位	トルコ	79	4.3%	ウクライナ	1,581	4.3%	スイス	2,499	3.8%
第4位	香港	69	3.7%	豪州	1,371	3.7%	中国	1,738	2.6%
第5位	ノルウェー	35	1.9%	米国	856	2.3%	セルビア	1,611	2.4%
_	その他	142	7.7%	その他	1,297	3.50%	その他	12,048	18.3%
全輸入量	_	1,856	_	_	37,017	_	_	66,009	_

資料:「Global Trade Atlas」 注:一部推定値を含む。

1. でん粉生産

セルビアは、旧ユーゴスラビア連邦(以下「旧ユーゴ」という)構成国の一つであり、旧ユーゴ構成国の中でも最大の面積と人口を有している(図)。セルビアで主に生産されているでん粉は、コーンスターチ、小麦でん粉とそれらを基にした化工でん粉である。

セルビアには、Fidelinka skrob doo社(以下「フィデリンカ社」という)、Jabuka社(以下「ジャブカ社」という)、Ipok社(以下「イポク社」という)という3社の主要でん粉製造企業が存在する。これらのうち、フィデリンカ社は、北部国境のスボティツァに小麦でん粉製造工場を有している。同社は、セルビアのみ

ならず旧ユーゴ構成国でも唯一の小麦でん粉製造企業であり、食品向け・工業向けの天然でん粉、各種化 工でん粉、接着剤、食品向け・飼料向けの小麦グルテンなどを製造している。

一方、ジャブカ社は、ベオグラード近郊のパンチェヴォに工場を有し、イポク社は、ベオグラードの北、 ズレニャニンに工場を有している。両社はともにAlmex doo社(以下「アルメックス社」という)の子 会社であり、コーンスターチを製造している。ジャブカ社の製品は、食品向けの天然でん粉や化工でん粉、 糖化製品が中心である一方、イポク社の製品は、工業向けの化工でん粉が中心となっている。

なお、この3社以外に近年、Victoria Starch社が設立され、今後、製造が本格化される予定である。

パンガリー スポティツア パレフチェヴォ ペスグラード ペルツェゴビナ セルビア マケドニア マケドニア

図 セルビアの位置とでん粉工場の立地

資料:機構作成

注1:本地図において、入り組んだ国境、島嶼部などについては、技術的な制

約から、おおまかに線描、色づけしたもの。

注2:旧ユーゴスラビア連邦構成国は、橙色のセルビアと緑色の各国。 注3:薄い黄土色(緑色のスロベニア、クロアチアを含む)は、EU加盟国。

2. でん粉輸出

セルビアのでん粉輸出量全体の約8割がEU向けである。また、EU域内の国別に見ると、旧ユーゴ構成 国や旧東側諸国向けが中心であり、地理的近接性や、旧ユーゴ時代からの経済的つながりが背景にあるも のと推察される(表2)。

一方、EU域外の主な輸出先は、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マケドニア、アルバニアなど、旧ユーゴ 構成国が中心である。これらの国々とは、地理的・歴史的関係に加え、中欧自由貿易協定の加盟国である という経済的つながりも背景にあるとみられている(表3)。

表2 セルビアのEU向けでん粉輸出量(2015年)

(単位:トン)

品目	小麦でん粉		コーンスターチ			化工でん粉			
	輸出先国	輸出量	シェア	輸出先国	輸出量	シェア	輸出先国	輸出量	シェア
第1位	ポーランド	525	50.1%	スロベニア	12,871	42.7%	ブルガリア	990	51.2%
第2位	ハンガリー	243	23.2%	クロアチア	4,488	14.9%	ルーマニア	437	22.6%
第3位	ブルガリア	203	19.4%	ギリシャ	3,492	11.6%	ポーランド	194	10.0%
第4位	チェコ	76	7.3%	ポーランド	3,007	10.0%	ギリシャ	113	5.8%
第5位	-	_	_	イタリア	2,412	8.0%	スロベニア	98	5.1%
_	その他	_	_	その他	3,860	12.8%	その他	100	5.2%
全輸出量	EU全体	1,047	_	EU全体	30,130	_	EU全体	1,932	-

資料:欧州委員会

表3 セルビアのEU域外向けでん粉輸出量(2015年)

	(単位:トン						
	輸出先国	輸出量	シェア				
第1位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	4,426	45.0%				
第2位	マケドニア	1,992	20.2%				
第3位	アルバニア	1,343	13.6%				
第4位	トルコ	1,035	10.5%				
第5位	モンテネグロ	985	10.0%				
_	その他	64	0.7%				
全輸出量	EU域外全体	9,845	_				

資料:セルビア政府統計局 注:イヌリンを含む。

3. 今後の展望

セルビアでは、人口700万人の国内市場は、それほど大きくなく、また、今後の成長見込みもそれほど 高くないとみられている。そのため、アルメックス社の製品の約9割は欧米諸国向けであり、ある主なで ん粉関連製品の流通企業は、コーンスターチの取り扱いを取りやめている。その一方、オーストリアの大 手でん粉製造企業であるアグラナ社は、コーンスターチ製造への投資を計画しており、輸出拡大の足がか りにするものと考えられる。

化工でん粉

デキストリンおよびその他の化工でん粉(HSコード:350510、以下「化工でん粉」という)の主要輸出国の、主要仕向け先国別輸出量および輸出価格は以下の通り。なお、データは「Global Trade Atlas」の出典である。

タイ

【貿易動向】

直近の情報を入手できなかったため、前月号の内容を再掲載する(図9)。

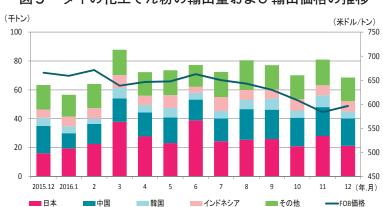


図9 タイの化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移

米 国

【貿易動向】

1月の輸出量は、7カ月連続で前年比増

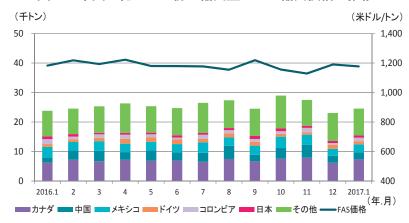
2017年1月の化工でん粉の輸出量は、2万4549トン(前年同月比3.1%増、前月比6.4%増)と、7カ月連続で前年同月を上回った(図10)。同月の国別輸出量は、次の通り。

カナダ 7342トン

(前年同月比15.7%增、前月比18.5%增)

メキシコ2665トン(同26.0%減、同13.9%増)中国2412トン(同48.5%増、同1.6%増)コロンビア1233トン(同28.5%減、同2.3倍)日本722トン(同18.5%減、同3.4%増)

図10 米国の化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



中国

【貿易動向】

1月の輸出量は、2カ月連続で前年比増

2017年1月の化工でん粉の輸出量は、6868トン(前年同月比71.3%増、前月比2.2%増)と、2カ月連続で前年同月を上回った(図11)。同月の国別輸出量は、次の通り。

日本 2986トン

(前年同月比6.4倍、前月比46.9%增)

マレーシア 661トン

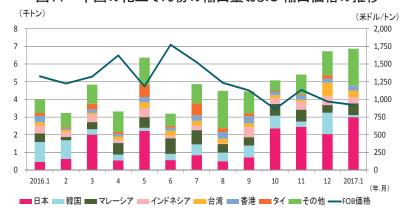
(同33.3%増、同52.0%増)台湾375トン

(同82.9%増、同51.4%減)

インドネシア 349トン

(同18.1%減、同29.2%減)

図11 中国の化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



E U

【貿易動向】

1月の輸出量は、6カ月連続で前年比増

2017年1月の化工でん粉の輸出量は、4万 5995トン(前年同月比24.5%増、前月比21.7%増) と、6カ月連続で前年同月を上回った(図12)。同 月の国別輸出量は、次の通り。

中国 8814トン

(前年同月比57.6%增、前月比75.8%增)

トルコ 7137トン

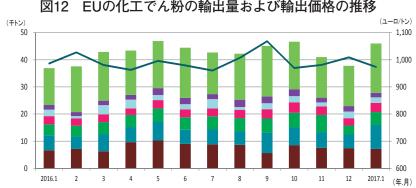
(同7.7%增、同4.0%減)

ロシア 4781トン

(同20.3%增、同44.0%增)

日本 3385トン

(同11.8%增、同23.9%增)



■トルコ ■中国 ■ロシア ■日本 ■韓国 ■米国 ■その他 ●FOR価格

図12 EUの化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移

州 豪

【貿易動向】

1月の輸出量は、11カ月連続で前年比増

2017年1月の化工でん粉の輸出量は、1797 トン(前年同月比0.8%増、前月比22.1%減)と、

11カ月連続で前年同月を上回った(図13)。同月 の国別輸出量は、次の通り。

1250トン 日本

(前年同月比1.4%增、前月比28.3%減)

ニュージーランド 254トン

(同27.0%增、同2.2倍)

図13 豪州の化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移

